

脚用 EMS 運動器 MXES-FR230

PA1829-10

取扱説明書

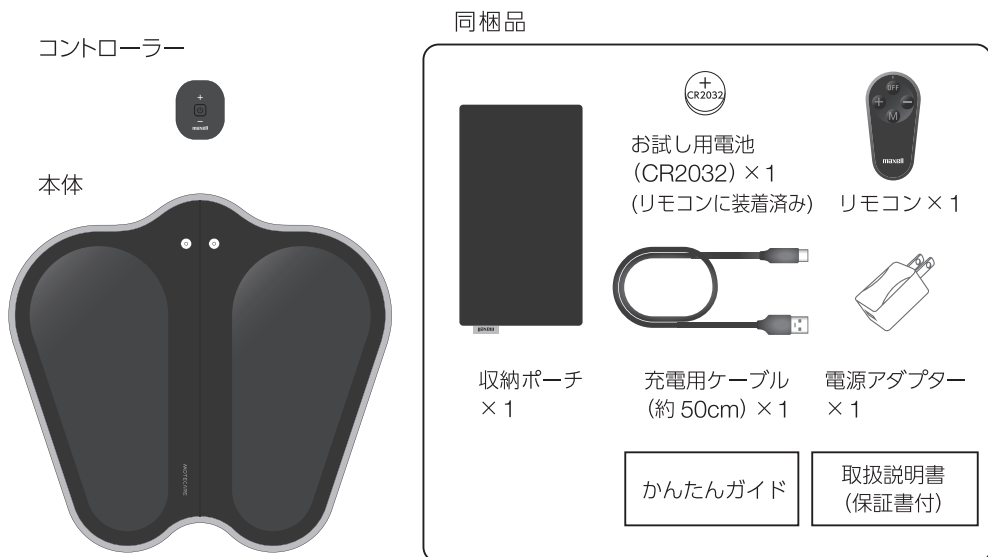
このたびは、マクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。また、本書は保証書も兼ねていますので、大切に保管してください。



もくじ

1	はじめに	2
2	安全上のご注意	2
3	各部の名称	6
4	使いかた	6
5	お手入れ	11
6	故障かな?と思ったら	12
7	本製品を廃棄する	14
8	仕様	14
9	保証とアフターサービス	15

同梱品の確認 ※収納ポーチの中に入っています



1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって




- この取扱説明書については、将来予告なく変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止されています。また無断転載は固くお断りします。

免責事項 (保証内容については保証書をご参照ください)

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証、黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されていません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は一切責任を負いません。

2 安全上のご注意




安全にご使用いただくために必ずお守りください。

 危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度
 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷*2を負うことが想定されるかまたは物的損害*3の発生が想定される危害・損害の程度

*1: 重傷とは、失明、けが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などを指します。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害を指します。

絵表示の例		製品の取扱いにおいて、その行為を禁止するために用いる。 ⊘の形状の中に具体的な禁止事項を意味する図記号を黒色で図示する。
		製品の取扱いにおいて、発火、感電、高温などに対する注意を喚起するために用いる。 △の形状の中に具体的な注意事項を意味する図記号を黒色で図示する。
		製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するために用いる。 ●の形状の中に具体的な指示事項を意味する図記号を白系統色で図示する。

危険

医療用電気機器との併用はしない

下記の機器とは絶対に併用しないでください。事故や身体への著しい障害をまねくおそれがあります。

- (1) ペースメーカーなどの体内埋め込み型医用電気機器
- (2) 人工心肺などの生命維持用医用電気機器
- (3) 心電計など装着型医用電気機器などの各医用電気機器



もれた液にさわらない

本製品内部や電池からもれた液体が目に入ったときは、こすらずきれいな水で洗った後ただちに医師の診察を受けてください。失明などの原因となります。



電池は乳幼児の手の届かないところに置く

乳幼児が電池を飲み込むおそれがあります。電池を飲み込んだときは、死に至ることがあるため、ただちに医師に連絡し、指示を受けてください。



警告

- 下記のような人は、医師に相談してから使用する
 - (1) 急性疾患のある人 (2) 悪性腫瘍のある人 (3) 感染症疾患のある人
 - (4) 妊娠中、生理中、出産直後の人 (5) 心臓に障害のある人 (6) 発熱している人
 - (7) 貧血ぎみの人 (8) 適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人
 - (9) 血圧に異常のある人 (10) 安静を必要とする人や著しく体調がすぐれないとき
 - (11) 脊椎（せきつい）の骨折、捻挫（ねんぞ）、肉離れなど急性（とう痛性）疾患の人
 - (12) 糖尿病など高度な末しょう循環障害により知覚障害のある人
 - (13) 美容整形や豊胸手術を行っている人 (14) 上記以外に身体に異常を感じている人
 事故や体調不良を起こすおそれがあります。



- 下記のような人は使用しない
 - (1) 飲酒している人 (2) 18歳未満の人 (3) 体重100kgを超える人



- 身体に異常を感じたら、ただちに使用を中止する
事故や体調不良を起こすおそれがあります。



- 心臓の近く、頭部、顔、目の近く、首まわり、陰部には使用しない
事故や体調不良を起こすおそれがあります。



- お風呂などの湿気が多い場所では使用、保管しない
発熱、感電、故障、カビ、サビの原因となります。



- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れない
発熱、発煙、発火の原因となります。



- めれた手で使用しない
発熱、感電、故障などの原因となります。











- 水などの液体をかけない
発熱、発煙、発火、破裂、故障、けがの原因となります。



● 乳幼児の手の届かないところで使用、保管する 事故や体調不良の原因となります。	
● 就寝時に使用しない 事故やけがの原因となります。	
● ネックレスなどの金属装飾品をつけたまま使用しない 強いショックを受けるおそれがあります。	
● 分解、改造をしない 発熱、発煙、発火、破裂、液もれ、故障、けがの原因となります。	
● 破損しているときは使用しない 事故やけがの原因となります。	
● 複数で同時に使用しない 事故やけがの原因となります。	
● 他のEMS機器と同時に使用しない 事故やけがの原因となります。	
● 立った状態で使用しない 事故やけがの原因となります。	
● 本製品を使用したまま、水、刃物、火を使用した家事を行わない 事故やけがの原因となります。	
● 端子をショートさせない 発熱、感電、故障、けがの原因となります。	
● 火中に投入しない 発煙、発火、破裂の原因となります。	

注意

本製品共通の注意事項

● 10～35℃の範囲内で使用する この範囲外の温度での使用は、液もれ、発熱、破裂、故障の原因となります。	
● 無理な力をかけない 変形して、液もれ、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。	
● 同じ部位での使用は1日1回までにする 異なる部位でも1日2箇所までにする。	
● 連続使用はしない 長時間の使用は筋肉や神経を痛めることがあります。	
● 使用中に携帯電話などの電子機器を使用しない 誤動作による事故のおそれがあります。	
● 自動車などの運転の直前および運転中には使用しない 事故やトラブルの原因となります。	
● 高温になる場所で使用、保管しない 事故やけが、故障の原因となります。	
● 踏みつけたり、落下させたりして強い衝撃を与えない 変形して、液もれ、発熱、発火、破裂、故障などの原因となります。	

- 可燃物や重いものを載せたり、毛布や座布団で覆ったり、包んだりしない
発熱、発火、破裂、液もれの原因となります。
- トレーニング、リラククス目的以外で使用しない
事故やけがの原因となります。
- 本製品を使用しながら運動をしない
けがの原因となります。



コントローラー、電源アダプター、充電用ケーブルの注意事項

- 3ヶ月に1回充電をする
電池が劣化して使用できなくなります。
- 充電は付属の電源アダプターと充電用ケーブル以外には使用しない
発煙、発火、破裂、故障の原因となります。
- 付属の電源アダプターと充電用ケーブルは本製品以外には使用しない
発煙、発火、破裂、故障の原因となります。
- 電源アダプターは根元まで確実に差し込む
差し込みが不十分なまま使用すると、感電やほこりの堆積による火災の原因となります。
- 充電中に異常が発生した場合は、ただちに電源アダプターをコンセントから抜く
発煙、発火、破裂、故障の原因となります。



リモコンの注意事項

- 電池の「+」「-」極を正しく入れる
発熱や液もれなどにより、破裂、破損、故障、けがの原因となります。
- 指定の電池をつかう
発熱や液もれなどにより、破裂、破損、故障、けがの原因となります。
- 使用推奨期限を過ぎた電池を使わない
本体故障の原因となります。



●リモコン使用上のご注意

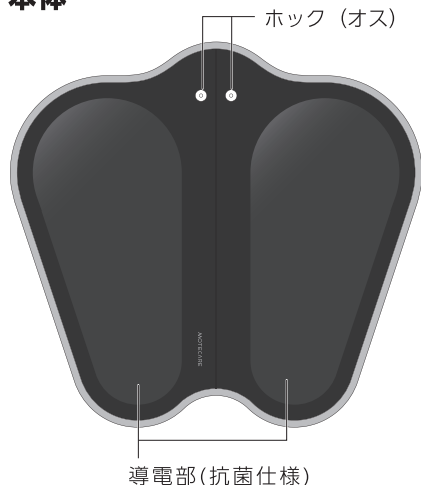
本製品のリモコン(以降、本リモコン)は315MHzの周波数帯を使用しています。
この周波数帯では、玄関ドアのワイヤレスキーや乗用車のリモコンキーなどで使用されているほか、
テレメータ用、テレコントロール用、データ伝送用など特定小電力機器で使用されています。

1. 特定小電力を使用するため、心臓ペースメーカーをご使用の方は、医療機器メーカーにご相談ください。
2. 本リモコンを使用する前に、近くでテレメータ用、テレコントロール用、データ伝送用など
特定小電力機器がないことを確認してください。
3. 万一、本リモコンから特定小電力機器に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、
すみやかに使用場所を変更するか、コントローラー本体で操作してください。
4. その他、本リモコン使用に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが
起きたときは、当社「お客様ご相談センター」までお問い合わせください。
5. 本リモコンは電波法に基づく特定小電力機器として認証を受けています。したがって、使用につい
て免許は必要ありません。ただし製品の分解や改造、認証表示を消すことは禁止されています。
6. 病院内や鉄道車内の優先席など携帯電話やワイヤレス機器の使用が禁止されている場所では
使用しないでください。

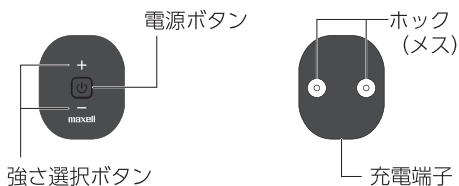


3 各部の名称

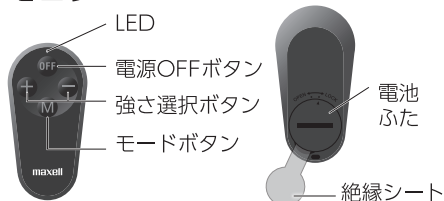
本体



コントローラー



リモコン



4 使いかた

リモコンの準備

- 1 絶縁シートを抜く リモコンの絶縁シートを引き抜きます。



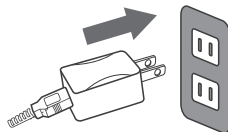
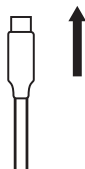
コントローラーの準備

- 2 充電する(購入後は充電してから使用してください)

- ・コントローラーと電源アダプターに充電用ケーブルを差し込みます。
- ・電源アダプターを家庭用コンセントに差し込むと電源ボタンが点滅し、充電が開始されます。
- ・充電が完了すると、電源ボタンが点滅から点灯に変わります。電源アダプターと充電用ケーブルを外してください。



※差し込む向きに注意してください。



コントローラー充電時のご注意

- 充電時間は約 2.5 時間です。(充電時間は電池の残容量、充電環境によって異なります)
- 充電中はボタン操作ができません。
- 付属の電源アダプターと充電用ケーブル以外は使用しないでください。
- 10～35℃の環境で充電してください。
- 1回の充電で使用できる回数は強さの設定レベル、使用環境、使用条件によって変わります。
- 保管をする際は、3ヶ月に1回充電してください。電池が劣化して使えなくなる場合があります。

※リモコンの電池は充電できません。

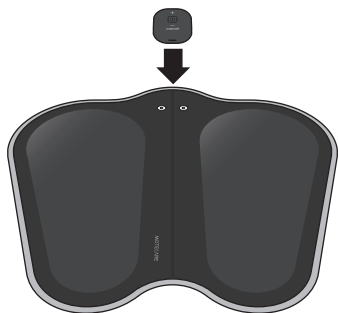
使用回数の目安	強さ 15	約 20 回
---------	-------	--------

※トレーニングモードの場合

使用する

③ 本体に取り付ける

フックのオスとメスの位置に注意しながら、本体にコントローラーをカチッと音が鳴るまでしっかりと取り付けてください。



④ 足をのせる

床に置き、座った状態で足をのせます。

※立った状態で使用すると電気刺激の強弱により、バランスを崩し、転倒しけがをするおそれがあります。

※靴下やストッキングなどを履いた状態では使用できません。裸足の状態で使用してください。

※汗や汚れをふき取ってから使用してください。



⑤ 電源を入れる

電源ボタン長押し(約2秒)するとピーと音が鳴り、電源ボタンが点灯します。電源を入れたときは、強さが1(最小)から開始されます。

※導電部に身体が密着していないとその後、ピー音が繰り返し、電源ボタンが点滅します(約1分)。この1分間に身体への密着がなかった場合、自動で電源が切れます。

※リモコンの操作でコントローラーの電源を入れることはできません。



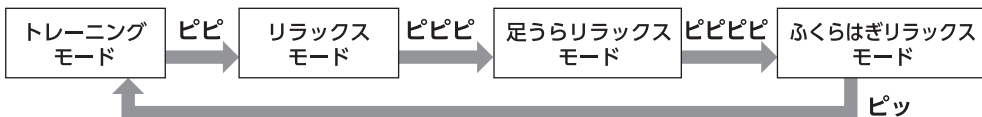
※以降はリモコンを用いて操作してください





⑥ モードを切り替える

リモコンのモードボタンを押すことにより、コントローラーから音が鳴り、モードが切り替わります。電源を入れた直後はトレーニングモードになります。

※モードを切り替えると、強さが1(最小)から開始されます。

*コントローラーの音とモード切替について



モードと特長	トレーニング ステップ 	刺激周波数 種類 	強度レベル 選択 	トレーニング 時間 
トレーニングモード 多彩な刺激で脚やヒップの広範囲な 筋肉を効果的に鍛えることができます	20 ステップ	25 種類	15 段階	約 10 分
リラックスモード じんわりとした心地よい刺激を 足に伝えます	14 ステップ	17 種類	15 段階	約 10 分
足うらリラックスモード 足に心地よい、たたき感を伝えます	3 ステップ	3 種類	15 段階	約 10 分
ふくらはぎリラックスモード 足に心地よい、もみ感を伝えます	3 ステップ	3 種類	15 段階	約 10 分

⑦ 強弱調整する

- ・リモコンの強さ選択ボタン「+」「-」を押して調整します。電気刺激の強さは15段階あります。
 - ・「+」または「-」ボタンを操作するとピッと鳴ります。
 - ・強さが15(最大)もしくは1(最小)に達するとピピと音が鳴ります。
- ※電源を入れた直後は強さ1(最小)になります。

● コントローラーでもモード切替、強弱調整ができます

<コントローラーでのモード切替>

- ・電源ボタンが点灯した状態で、電源ボタンを押す(短押し)ことにより、コントローラーから音が鳴り、モードが切り替わります。電源を入れた直後はトレーニングモードになります。

<コントローラーでの強弱調整>

- ・電源ボタンが点灯した状態で、コントローラーの強さ選択ボタン「+」「-」を押して調整します。電気刺激の強さは15段階あります。
 - ・「+」または「-」ボタンを操作するとピッと鳴ります。
 - ・強さが15(最大)もしくは1(最小)に達するとピピと音が鳴ります。
- ※電源を入れた直後は強さ1(最小)になります。

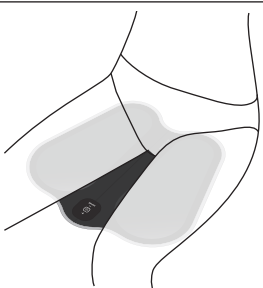
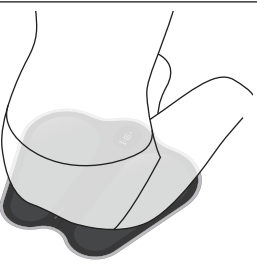
※コントローラーの強弱ボタンは静電式のため、次のような場合は動作しないことがあります。

- ・爪で押している
- ・手袋、ばんそうこうをしている
- ・乾燥した指で操作している
- ・コントローラーにシールを貼付けている
- ・コントローラーが汚れている

⑧ 使用例

- ・以下の使用方法を推奨いたします。(必ず座りながら・寝ころがりながら使用してください)
- ※立った状態で使用すると電気刺激の強弱により、バランスを崩し、転倒してケガをするおそれがあります。
- ※導電部に身体が密着していないと、ピップ音が繰り返し、電源ボタンが点滅します(約1分)。この1分間に身体への密着がなかった場合、自動で電源が切れます。
- ※汗や汚れをふき取ってから使用してください。

	たて方向乗り	よこ方向乗り	ふくらはぎ乗せ
推奨使用方法			
目的	下肢全体への刺激 足裏、ふくらはぎ、前すねの筋肉をトレーニング	足裏への刺激 リラックスしながら足裏をケア	リラックスしながら、ふくらはぎへの刺激
推奨モード	トレーニング	リラックス 足うらリラックス	リラックス ふくらはぎリラックス

	ふともも乗せ	おしり乗せ
推奨使用方法		
目的	低周波の刺激でふとももの筋肉を鍛える	大臀筋を刺激し鍛える
推奨モード	トレーニング	トレーニング

※推奨使用方法はイメージです。衣類の上からは使用できません。肌に直接触れさせて使用してください。

⑨ 終了する

- ・開始してから約10分でピーと音が鳴り、自動的に電源が切れます。
- ※どのモードを使用しても約10分で自動的に電源が切れます。
- ・途中で電源を切る場合はリモコンの電源 OFF を長押し(約2秒)してください。または、コントローラーの電源ボタンを長押し(約2秒)してください。ピピピ音と同時に電源ボタンが消灯し、電源が切れます。

ご使用時のご注意

- 使用中に痛みやしびれを感じたときは、電源ボタンを押して終了させ、のる位置や座る位置を変えてから再度お試しください。
- 無理に強さを上げすぎないでください。
- 最初は強さ1などで使用を開始し、電気刺激に慣れてきたら徐々に強さを上げてください。
- トレーニングステップは自動的に切り替わります。手動で選択することはできません。
- 途中で終了した場合でも、次回使用するときは動作の最初から開始されます。
- 10～35℃の環境で使用してください。
- 電源ボタンが点灯しない、電気刺激が感じられない場合などはコントローラーの電池容量が少なくなっています。コントローラーを充電してください。
- 使用の際は、必ず充電用ケーブルを外してから使用してください。

電気刺激が痛く感じる場合

- 不織布あるいは薄い布を水でぬらし、良く絞り、湿らせた状態で、本体両側の各導電部に1枚ずつ敷いて使用してください。
※コントローラーと本体に防水機能はありません。コントローラーや本体をぬらさないでください。
※薬剤を使用したウェットティッシュ(顔拭き用やメイク落とし用など)は使用しないでください。
※コントローラーやホックに不織布が触らないように敷いてください。



- 次の方法では使用しないでください

左右の不織布が接触している

1枚の不織布で使用する

不織布を重ねて使用する
乾いた不織布を使用する



- のる位置や座る位置を変える、また、不織布を使用しても電気刺激を強く感じる場合はただちに使用をおやめください。

保管する

- 使用後は汗や水分を拭き取り、コントローラーを本体から外し、本体は折りたたんで収納ポーチへ、コントローラー、リモコン、充電用ケーブル、電源アダプターは収納ポーチのポケットへ収納し保管します。
汗や水分を拭き取らずに放置すると、製品寿命が短くなるおそれがあります。
- 電源が入っていないことを確認し、高温、多湿、直射日光の当たる場所やほこりの多い場所を避けて保管してください。
- 長期間使用しない場合、コントローラーを充電し、また、リモコンからは電池を取り出して保管してください。
なお、3ヶ月に1回充電をしてください。電池が劣化して使えなくなる場合があります。

5 お手入れ

お手入れをするときは充電していないこと、電源が切れていることを確認し、必ずコントローラーを本体から取り外してください。

本体およびコントローラー、リモコンのお手入れ

- 乾いたやわらかい布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、やわらかい布に水を含ませ、よく絞ってから軽くおさえるように拭き取ってください。

ご注意

- 本製品は防水仕様ではありません。本体およびコントローラー、リモコンに水がかからないようにしてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品で拭かないでください。
- お手入れをしない状態のまま使用もしくは長期保管などしますと、性能劣化や故障の原因となります。定期的なお手入れをおすすめいたします。

リモコンの電池交換

リモコンのLEDが点灯しない、リモコンをコントローラーへ向けて操作をしても反応しない場合は電池が消耗している場合があります。新しい電池と交換してください。

※付属の電池はお試用です。寿命が短い場合があります。

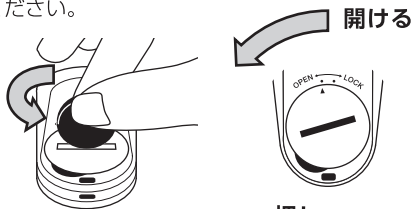
※リモコンの電池は充電できません。

① 電池ふたを開ける

コインなどを使って、電池ふたを開けてください。

※電池ふたをなくさないように注意してください。

開ける



② 電池を取り出す

くぼみに指を入れ、電池を押し、下から取り出します。

押し、
下から
取り出す



③ 電池を入れる

「+」印がついている方を上にして、電池を入れてください。

使用電池 コイン形リチウム電池 CR2032

(推奨：マクセル製)

※電池がしっかりと入っていることを確認してください。

押し入れる

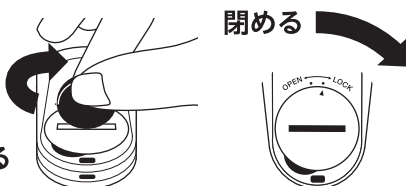


④ 電池ふたを閉める

コインなどを使って、電池ふたを閉めてください。

※電池ふたがしっかりと閉まっていることを確認してください。電池ふたがしっかりと閉まっていないと、リモコンで操作できない原因となります。

閉める



ご注意

- 電池の「+」「-」極を間違えないでください。発熱や液もれなどにより、破裂、破損、故障、けがの原因となります。
- 万一、電池や電池ふたを飲み込んだ場合は、ただちに医師に連絡し、指示を受けてください。
- 電池は必ず新しい電池と交換してください。
- 取り出した電池は「+」「-」極をセロハンテープなどで覆い絶縁してから、お住まいの地区(市区町村)の廃棄方法に従って廃棄してください。

6 故障かな?と思ったら

下記「対処の方法」で解決しない場合は、お買い上げの販売店または当社「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。

現象	原因	対処の方法
電源が入らない (コントローラー)	コントローラー電池残量が少ない	コントローラーを充電してください
	電源ボタンの長押しする時間が短い	電源ボタンを長押し(約2秒)すると、ピー音が鳴り、電源が入ります
	リモコンで電源を入れようとしている	リモコンで電源を入れることはできません。コントローラーの電源ボタンを長押し(約2秒)してください
ピー音が繰り返し止まらない (コントローラー)	コントローラーと本体が接続されていない	本体とコントローラーのホック同士をしっかりと接続してください
	身体と密着していない	足をのせる位置や座る位置を調整してください
	皮膚が極度に乾燥している	皮膚を水で湿らせてから再度使用してください
動かなくなった (コントローラー、本体)	コントローラーの電池残量がなくなった	コントローラーを充電してください
	開始から一定時間経過して、自動で電源が切れた	本製品は、約10分で動作停止します
トレーニングさせている実感がない 電気刺激が弱い 出力が上がらない	身体と密着していない	足をのせる位置や座る位置を調整してください
	コントローラーの電池残量が少ない	コントローラーの充電をしてください
	設定が弱い	強さ選択ボタンの「+」を押し、強さを上げてください
	モードが異なっている	p.9【 ㊦ 使用例 】を参考にモードを選択してください
	皮膚が極度に乾燥している	皮膚を水で湿らせてから再度使用してください
	リモコンの電池残量がなくなった	リモコンの電池を新しい電池に交換してください
電気刺激が強い 痛く感じる	設定が強い	強さ選択ボタンの「-」を押し、強さを下げてください
	身体と密着していない	足をのせる位置や座る位置を調整してください
	電気刺激を過敏に感じる体質	p.10「 電気刺激が痛く感じる場合 」を参照して、不織布あるいは薄い布を水でぬらし、良く絞り、湿らせた状態で、本体両側の各導電部に1枚ずつ敷いて使用してください
	連続して使用している	同じ部位での使用は、1日1回までにしてください
充電できない (コントローラー)	充電用ケーブルがしっかり差し込まれていない	充電用ケーブルを根元までしっかり差し込んでください
LEDが点灯しなくなった (リモコン)	リモコンの電池残量がなくなった	リモコンの電池を新しい電池に交換してください
リモコン操作ができない	リモコンの操作電波がコントローラーに届かない	リモコンをコントローラーへ向けて操作してください リモコンをコントローラーへ近づけて操作してください
	リモコンの電池残量がなくなった	リモコンの電池を新しい電池に交換してください
	コントローラーの電池残量がなくなった	コントローラーを充電してください
	リモコンで電源を入れようとしている	リモコンで電源を入れることはできません。コントローラーの電源ボタンを長押し(約2秒)してください

現象	原因	対処の方法
リモコン操作ができない	コントローラーとの接続が外れた	<p>リモコンとコントローラーの再接続をしてください</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) コントローラーの電源ボタンを長押しし電源を入れます (2) コントローラーの電源ボタンが点灯し、「ピー」と音が鳴ったらすぐにコントローラーの「一」ボタンを6回連続で押します (3) 「ピッピッピッピッ・・・」と連続音が鳴り続け、電源ボタンが速く点滅する状態になったら、リモコンのOFFのボタンを押します (4) コントローラーの電源ボタンの点滅が消えれば、接続設定完了です <p>※ご購入時はリモコンとコントローラーはあらかじめ接続設定していますので、あらためて上記の方法にて接続していただく必要はございません。</p>

7 本製品を廃棄する

コントローラーについて

⚠ 注意 日本国内での充電式電池の廃棄について

本製品のコントローラーはリチウムイオン電池(充電式電池)を搭載しています。充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身ではおこなわず、当社「お客様ご相談センター」にご相談ください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページを参照してください。



リモコンについて

本製品を廃棄するときは、リモコンから必ず電池(コイン型リチウム電池)を取り外し、「+」「-」極をセロハンテープなどで覆い絶縁してから、お住まいの地区(市区町村)の廃棄方法に従って廃棄してください。

本体、電源アダプター、充電用ケーブルについて

お住まいの地区(市区町村)の廃棄方法に従って廃棄してください。

8 仕様

本体 (コントローラー含む)	外形寸法	幅360×高さ340×厚み22 mm (突起部除く)	
	質量	約 150 g	
コントローラー	電源	リチウムイオン電池 3.7 V 120 mAh	
連続動作時間		各モード 約 10 分	
同 梱 品	リモコン	外形寸法	幅37×高さ70×厚み11 mm (突起部除く)
		質量	約 14 g (電池除く)
		電源	コイン形リチウム電池 (CR2032)
		送信周波数	315 MHz
		送信距離	約 3 m (見通し距離)
	お試し用電池	コイン形リチウム電池 (CR2032)	リモコンに装着済
	電源アダプター	入力	AC 100-240V 50/60 Hz
		出力	DC5V/最大 1A
	充電用ケーブル	長さ	約 50 cm
	収納ポーチ	外形寸法	幅35×高さ20 cm

抗菌効果

部品名： 本体	抗菌の処理を行っている部分の名称： 導電部
試験方法： JIS Z 2801-2012に基づく	抗菌の方法： 導電性シリコンゴムに練り込み
抗菌の確認を行った試験機関： 広州市微生物研究所 (中国)	

9 保証とアフターサービス

保証書

保証書はよくお読みの上で、購入証明書（レシートなど）と共に大切に保管してください。保証期間はご購入日から1年間です。

本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

株式会社電響社

マクセル製品 お客様相談センター

TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル) | FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル)

<https://www.maxell.co.jp>

マクセルお問い合わせ

検索

本製品はマクセル株式会社とのライセンス契約のもと、株式会社電響社が製造・販売しております。

株式会社電響社

マクセル製品 お客様相談センター

TEL. (0570) 783-137(ナビダイヤル)